

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	公的不動産活用課担当課長 和田 一広	
行経-08	実施事業	庁舎管理事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 公的不動産活用課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針	行財政運営

1 事業の目的

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

対象	市庁舎	市庁舎の総合管理業務及び維持修繕等を行った。
意図	市庁舎の維持保全を図るため。	
効果	設備関係の改修を重点的に行い、市庁舎の機能改善を図る。	

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	世帯数	83,058世帯	
運営資源状況	事業の対象者数		事業の対象者数		
	決算値(千円)	219,923	199,020	当初予算(千円)	201,264
	国県支出金			国県支出金	
	地方債			地方債	
	その他	12,921	13,398	その他	13,010
	一般財源	207,002	185,622	一般財源	188,254
	人員配置数	4.4	3.3	人員配置数	3.2
事業経費運営	人件費(千円)	34,477	26,540	人件費(千円)	26,004
	総事業費(千円)	254,400	225,560	総事業費(千円)	227,268
	市民1人当りの経費(円)	1,443	1,278	市民1人当りの経費(円)	1,287
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
		△-9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、協働はなじまない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
		見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 建物の老朽化に伴う設備改修や日常的な修繕について、例年の予算規模を維持しつつ計画的に実施していく。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	庁舎移転までの現本庁舎の設備改修や修繕については、効率的な予算執行が求められることから、事業内容や予算規模は現状維持とする。	

令和元年度(2019年度)事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	・本庁舎の移転を視野に入れた、修繕未実施個所の対応について 庁舎の老朽化が進行しており、天井からの雨漏り、配管からの水漏れ、電気設備、空調設備の故障が頻繁に発生しており大規模修繕が必要な状況となっている。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	本庁舎の移転を視野に入れた庁舎の延命修繕を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	庁舎は老朽化が進行しているため、色々な設備で修繕が必要となっている。特に本庁舎は全ての設備において修繕が必要な状況だが、予算に限りがあるため、優先順位を決めて修繕を行う必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項										
団体名										
他市実績										

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容		単位		指標の傾向		備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	
-----------------------	--